



平成26年1月28日

### 平成26年度（第55回）科学技術週間の標語の決定について ～ 「みんながしあわせになる かがくがいいな。」～

平成26年度（第55回）科学技術週間（平成26年4月14日（月）～20日（日））の標語について、文部科学省は、最優秀作として、鹿児島県 鹿児島市立武小学校 1年 安田 菜子さんの作品「みんながしあわせになる かがくがいいな。」を選考した。

標記の科学技術週間（平成26年4月14日（月）～20日（日））の標語については、全国の小・中・高校生から応募のあった7,835点の作品の中から、平成26年度（第55回）科学技術週間標語選考委員会により、科学技術週間標語候補作品16点が選定されました。

文部科学省においては、この選定結果を踏まえ、所定の手続きを経て、最優秀作1点、優秀作15点を決定しました。

最優秀作の「みんながしあわせになる かがくがいいな。」については、平成26年度（第55回）科学技術週間標語として、科学技術週間周知ポスターなどに活用される予定です。

<担当> 科学技術・学術政策局人材政策課  
理解増進企画係  
課長補佐 大塚（内線3884）  
係長 鈴木（内線4193）  
電話：03-5253-4111（代表）  
03-6734-4191（直通）

1. 最優秀作 1点 (平成26年度(第55回)科学技術週間標語)

○みんながしあわせになる かがくがいいな。

(鹿児島県 鹿児島市立武小学校 1年 安田<sup>やすだ</sup> 菜子<sup>なこ</sup>さん)

2. 優秀作 15点

○世界が気づかなかったことを きみが。

(茨城県 私立清真学園中学校 3年 大川<sup>おおかわ</sup> 亜美<sup>あみ</sup>さん)

○「やってみよう！」その気持ちが夢への一歩

(岡山県 岡山学芸館清秀中学校 3年 細野<sup>ほその</sup> 真由<sup>まゆ</sup>さん)

○ありえない 百年後には あたりまえ

(宮崎県 宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校 1年 清水<sup>しみず</sup> 優成<sup>ゆうせい</sup>さん)

○科学技術 いつの時代も最先端

(香川県 香川県立高松商業高等学校 1年 佐野<sup>さの</sup> 菜保<sup>なほ</sup>さん)

○見つけよう 夢見る心と 科学の扉

(岡山県 岡山市立岡北中学校 1年 織田<sup>おだ</sup> 優希<sup>ゆうき</sup>さん)

○科学という 船に乗せる 夢と未来

(青森県 青森市立佃中学校 2年 工藤<sup>くどう</sup> 慧音<sup>けいと</sup>さん)

○やってみよう わからないから おもしろい

(埼玉県 上尾市立平方小学校 6年 菅原<sup>すがわら</sup> 久裕衣<sup>くゆい</sup>さん)

○まだまだ解けないナゾが いっぱい「科学！」

(埼玉県 さいたま市立中尾小学校 4年 亀井<sup>かめい</sup> 風花<sup>ふうか</sup>さん)

○町じゅうに科学の力が生きている。

(埼玉県 さいたま市立中尾小学校 4年 杉村<sup>すぎむら</sup> 明香里<sup>あかり</sup>さん)

○発見で まだ見ぬ景色 見てみたい

(熊本県 私立文徳高等学校 2年 <sup>ふくだ</sup>福田 <sup>ももか</sup>桃佳さん)

○科学にふれる 一週間

(茨城県 茨城県立並木中等教育学校 1年 <sup>たなか</sup>田中 <sup>あゆむ</sup>歩さん)

○さあ これから いろんな発見がまっている

(東京都 東京都立中野工業高校 2年 <sup>なかざわ</sup>中澤 <sup>ひろし</sup>弘さん)

○何気ない そのひらめきが 未来を変える

(茨城県 私立清真学園高等学校 1年 <sup>おおかわ</sup>大川 <sup>まお</sup>真央さん)

○「？」がうかべば科学の入り口

(愛知県 刈谷市立刈谷南中学校 1年 <sup>とおやま</sup>遠山 <sup>かえ</sup>花笑さん)

○ロマンそれは科学

(愛知県 刈谷市立富士松中学校 1年 <sup>おきむら</sup>沖村 <sup>けいた</sup>敬太さん)

(参 考)

○募集期間 平成25年9月9日(月曜日)～平成25年10月31日(木曜日)

○最終選考日 平成25年12月4日(水曜日)

○平成26年度(第55回)科学技術週間標語選考委員(50音順、敬称略)

平野 弘之 神奈川県立相模大野高等学校 総括教諭

片野 茂男 千葉市立さつきが丘中学校教諭

阪本 秀典 東京都江戸川区立清新第二小学校主幹教諭

中山 純史 東芝科学館館長

高木 靱生 科学技術ジャーナリスト

國谷 実 公益社団法人 科学技術国際交流センター 理事

○過去の標語

第54回 「何でだろう？そう思えばほらスタートライン」

第53回 「わあ ぼく こんなに みつけたよ かがくのたね」

第52回 「輝いている 科学するときの あなたの目」

第51回 「発見したいな まだ誰も見つけてないこと」

第50回 「さいしょはどうして さいごはなるほど」

- 第49回 「描こうよ 科学の力で 未来地図」  
 第48回 「科学こそ 世界をつなぐ 共通語」  
 第47回 「小さな発見 未来につながる 第一歩」  
 第46回 「はじまりは いつもひとつの 「なぜだろう？」」  
 第45回 「不思議だと 思う気持ちが 科学の目」  
 第44回 「ふしぎがいっぱい ゆめいっぱい みんなかがくで あそぼうよ」

○標語応募作品内訳

学年／地域	北海道 東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州 沖縄	学校種別 計
小学1年	1	1	8	1	2	2	13	2,671
小学2年	3	8	41	1	2	0	6	
小学3年	5	24	67	2	3	0	83	
小学4年	64	159	153	7	8	4	32	
小学5年	129	304	214	110	5	4	51	
小学6年	184	497	205	19	92	0	125	
学年不詳	1	15	9	1	0	0	6	
中学1年	36	368	566	137	201	20	235	4,227
中学2年	43	513	366	64	80	35	179	
中学3年	128	461	438	64	21	44	152	
学年不詳	0	21	6	2	3	0	44	
高校1年	1	146	106	16	5	6	33	904
高校2年	3	73	143	56	88	2	113	
高校3年	1	44	49	4	7	1	0	
高校4年※	0	0	0	0	0	0	0	
学年不詳	0	5	0	0	0	0	2	
学校・学年不詳				1				1
計	599	2,639	2,371	485	517	118	1,074	7,803
地域不明							32	
総計								7,835

※定時制（4修制）からの応募

(参考)

# 科学技術週間について

昭和35年2月26日 閣議了解

## 1. 趣旨

科学技術に関し、ひろく一般国民の関心と理解を深め、もって我が国の科学技術の振興を図るため、科学技術週間を設け、できるかぎりこの期間中に各種の科学技術に関する行事を集中的に実施し、目的達成に資するものとする。

## 2. 期間

期間は、毎年4月18日を含む1週間とし、昭和35年度は、4月18日から24日まで（1週間）とする。

## 3. 行事

科学技術関係機関および一般の協力を得て、たとえば科学技術功労者の表彰、試験研究機関の公開、講演会、展覧会、映画会、座談会等の開催、科学技術に関する資料の公表など、この期間の趣旨にそった行事を全国的に実施するものとする。

---

## 科学技術週間の期間について

昭和49年12月6日  
科学技術庁

昭和35年2月26日の閣議了解に基づく「科学技術週間」の期間は、昭和50年度以降は、毎年、4月18日を含む月曜日に始まり日曜日に終わる1週間とする。